

---

## 血液透析患者におけるオーラルフレイルの調査報告

---

医療法人衆和会 長崎腎病院

○林田征俊 山下万紀子 高木伴幸 澤瀬健次 原田孝司 船越 哲

### 【背景】

オーラルフレイル (OF) とは加齢に伴う口の機能低下であり、身体的フレイルに先立って生じ、OF 該当者は生命予後不良との報告もある。

### 【目的】

当院の血液透析患者における OF を調査し、関与する因子を確認した。

### 【方法】

外来血液透析患者 203 名を対象とし、有効回答 153 例を調査した。OF のリスク判定は、飯島らの質問票を用い自己申告制とした。次に OF と、年齢・透析歴・栄養状態・身体的フレイル・認知症・残歯数・糖尿病 (DM) との関連を確認した。

### 【結果】

OF の判定は、リスク無しが 34.6%、リスク有りが 65.4%であり、身体的フレイルと残歯数との相関を認めた。また、OF 判定スコアは患者が有意に高く、つまり高リスクであった。その後の追加調査で、DM 患者は非 DM 患者に比べ身体的フレイルは有意に高リスク、残歯数は有意に少なかった。

### 【考察】

血液透析患者においても OF と身体的フレイルは関連を認め、また、DM が OF のリスクを高めている可能性が示された。